

未来を築くユース会議 2018～社会を読み解き 未来を創る！メディア・リテラシーを磨こう！～

第1回 グローカル人財と対話力

- 日 時：2018年8月28日（火）10時35分～16時36分
- 場 所：あいち国際プラザアイリスルーム
- 参加者：14人
- ファシリテーター：伊沢令子（NIED・国際理解教育センター）、記録：川合眞二（同左）
- 全体（全4回）のねらい
 - ① 他者、社会、世界を理解するための「情報」は、どう集め、どう読み解くことが必要かをふりかえる。
 - ② 地域社会と地球社会を俯瞰し、情報を多角的に読み解き、社会の現状と課題を確認し共有する。
 - ③ 地域と世界をつなぐグローバルな視点でよりよい未来のビジョンを描き、実現に必要なことを見出す。
- 第1回のねらい
 - ◇ グローバル化した社会にあって、グローバルとローカルをつなぐ視点の大切さを理解する。
 - ◇ それぞれは今の社会や今の世界をどう捉えているのか、お互いの考えや認識を共有する。
 - ◇ グローカル人財に欠かせない、英語力ではない対話力を磨く。

● プログラム

1. 本会議の目的及び第1回ねらいの確認 10:35-[20]
2. フルーツバスケット方式参加者アンケート 10:55-[9]
3. 背の順ラインアップ・以心伝心ゲーム 11:04-[9]
4. 3つのキーワードで自己紹介 11:13-[16]
5. インタビューゲーム 11:29-[33]
小休憩 12:02-[5]
6. 自由にひろげる＆民主的にまとめる対話力 12:07-[33]
お昼休憩 12:40-[60]
7. グループ替えと一言自己紹介 13:40-[5]
8. この社会のニュースについてあなたの意見を聞かせてよ 13:45-[45]
9. この社会についてのまとめ 14:30-[33]
小休憩 15:03-[10]
10. グループ替えと一言自己紹介 15:13-[7]
11. グローカル人財お悩み相談～7箇条づくり 15:20-[32]
12. SDGsからひもとく世界と日本の現状 15:52-[15]
13. 新聞を読み解く～メディア・リテラシーを考える 16:07-[26]
14. 全体ふりかえり 16:33-[3]

■ 1. 本会議の目的及び第1回ねらいの確認 10:35- [20]

- 主催者あいさつ…本会議の主催者として愛知県国際交流協会小山課長があいさつし、愛知県国際交流協会の概要を次のとおり説明した。
「AIAは国際交流を推進する団体である。日常的には、国際交流NPOの支援（補助金、助成金、ワールド・コラボ・フェスタの開催など）、知識普及啓発（世界のことの周知・学習）、多文化共生（県内在住の外国人の地域共生の推進）、その他外国人のインターンシップ制度、情報提供、図書館運営（地域別図書提供）など行っている。今回の講座は、NIED・国際理解教育センターと協働して実施している。」
- 研修のねらいと進め方の説明…ファシリテーターを務めるNIED・国際理解教育センターの伊沢代表があいさつし、本会議は、参加者が双方向に学び合う形式である「参加型」で行うこと、ファシリテーターの役割、AIAとNIEDのスタッフやオブザーバーについて説明した。また、本会議のテーマ「メディア・リテラシー」や目的、全4回のスケジュール、第1回のねらいについてレジュメを基に説明した。

■ 2. フルーツバスケット方式参加者アンケート 10:55- [9]

- ファシリテーターからお題出し…全員が座れる状態で、ファシリテーターが質問を出し、該当する人が席を移動して、その様子を見てどんな人が来ているか知った。
- 参加者からお題出し…2問目以降は参加者が自由に質問を出した。
＜出されたお題＞①朝ご飯を食べた人、②昨夜6時間以上寝た人、③昨日スマホを触った人、④大学生の人、⑤昨夜24時前に寝た人、⑥昨日野菜を食べなかった人、⑦猫を飼っている人、⑧大学生じゃない人、⑨名古屋市出身の人、⑩海外に行ったことがある人、⑪文化部の人または文化部だった人、⑫猫ではなく犬派の人、⑬アメリカに行ったことがある人、⑭今靴下を履いていない人、⑮この夏休みに旅行に行った人、⑯スポーツが好きな人



■ 3. 背の順ラインアップ・以心伝心ゲーム 11:04- [9]

- 背の順ラインアップ…言葉を使わないで背の順に並んだ。
- 以心伝心ゲーム…背の順のまま輪になり、手を結んで、以心伝心ゲーム^{*}を行った。
※ 最初の人と隣の人とが手を握り、それを順に一周した時間を計測した。1回目6秒。2回目5秒！最後は15秒になるように回した。
- グループづくり…1～3の番号を振って、同じ番号の人同士でグループになり、机に座った。



4. 3つのキーワードで自己紹介 11:13- [16]

- 自分を表す3つのキーワード出し…各自、自分に関するキーワード3つを考え、A4用紙に書き出した。
- キーワードで自己紹介…見本として、ファシリテーターが3つのキーワード（①葉草魔女、②バランス、③風の人3S）で自己紹介を行った。その後、グループ内で、3つのキーワードを使って1人1分30秒間ずつで紹介しあった。

5. インタビューゲーム 11:29- [33]

- ペアでインタビュー…ペアになって、3つのキーワードも踏まえて、自由に以下のルールでインタビューを話し手・聞き手を交代して3分間ずつ行った。よりその人の人となりを知ることが意識して追加で2分間インタビューを行った。
＜ルール＞ ①何を聞いても構わない
②言いたくないことは答えなくても構わない
③聞かれたこと以上のことを話しても構わない
- グループで他己紹介…インタビューでわかったペアの相手のことを100字程度で文章にまとめた。それを他己紹介としてグループ内で紹介しあった。



★ 小休憩 12:02-[5]

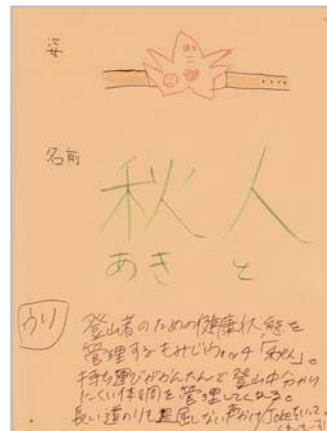
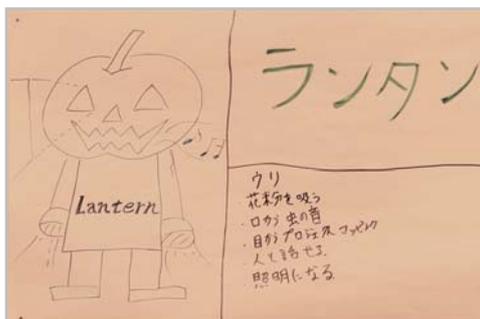
6. 自由にひろげる & 民主的にまとめる対話力 12:07- [33]

- グループ4人の共通点探し…グループ4人全員に共通することを1分間でできるだけ多く探り、書記の人がA4用紙に書き留めた。何個出せたか確認（結果：6個、6個、7個）。それらのうち、斬新なアイデアを1つ選び、全体で発表した。＜発表内容＞…「今ドリンクを持っている/ラーメンと餃子派/文系」
- 「秋と言えば」アイデア出し…次に「秋と言えば」でイメージするものをブレインストーミング※によりできるだけ多く探り書き留めた。斬新なアイデアを1つ選び、全体で発表した。＜発表内容＞…「虫の音/元彼の名前がアキ/お祭り」
※ ブレインストーミングのルール…①質よりも量、②出されたアイデアを否定しない（質問はOK）、③斬新なアイデア歓迎、④結合と発展、⑤みんなはみんなの応援団
- 「人と社会に役立つものと言えば」アイデア出し…最後に「人と社会に役立つものと言えば」でイメージするものをブレインストーミングによりできるだけ多く探り書き留めた。斬新なアイデアを1つ選び、全体で発表した。＜発表内容＞…「笑い/自然/石油」
- 「秋っぽい“人と社会に役立つ”ロボット」づくり…今のグループがロボット製作のチームという想定で、「秋っぽい人と社会に役立つロボット」を民主的な話し合い※で検討し、模造紙に、ロボットの姿、名前、



ウリを書き出した。その後、できあがったロボット（模造紙）を全体で発表した。

- ※ 民主的な話し合いのルール…①暴力禁止、②自分の考えを主張する、③多数決で決めず少数意見を大切に、④代案・提案を繰り返して合意形成する



★ お昼休み 12:40-[60]

7. グループ替えと一言自己紹介 13:40-[5]

- グループ替え…じゃんけんをして、一番勝った人と一番負けた人が居残り、残り2人が別のグループに移動することでグループ替えを行った。
- 一言自己紹介…「最近ショックだったこと」をお題にグループ内で自己紹介をしあった

8. この社会のニュースについてあなたの意見を聞かせてよ 13:45-[45]

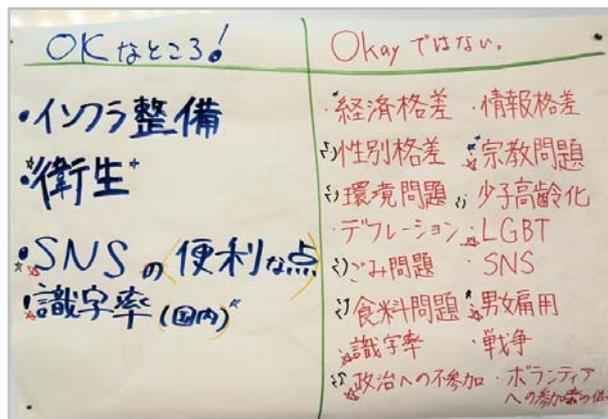
- ワールドカフェ1巡目…「自分たちが生きている社会はどんな風と思うか（うまくいっているところ、まずいなあとと思うところなど）」をお題に、グループ内で7分間話し合い、出てきた内容を机上の模造紙に自由に書き留めた。
- ワールドカフェ2巡目…グループメンバーのうち1人がカフェマスターとして居残り、2人が他のグループに別々に移動した。移動し終わったグループメンバー内で、カフェマスターの人がそのグループで前回話し合われたことの概要を説明し、他のグループからメンバーがそのグループで話し合われた概要を説明した後、新たなメンバーでさらに話しを続けて、その結果を模造紙に書き留めた（7分間）
- ワールドカフェ3巡目…最初のグループメンバーに戻り、そのグループのカフェマスターの人が、新たに付け加わった情報について説明したり、他のグループに行っていた人がそのグループで話し合ったことを共有したりした。



▲ ワールドカフェ模造紙の例

9. この社会についてのまとめ 14:30 - [33]

- ワールドカフェの対比表でのまとめと共有…グループ内で、これまで発散して話し合い出てきた話題内容を「ここはOK! (Good)」と「ここはなんとかしたい! (No good)」という項目で対比表にまとめた。回し読み形式で他グループのアイデアを共有した。その際、これいいね! というアイデアには☆印を、よくわからないアイデアには?印を付けた。?印が付いたアイデアについて書いた人が全体で説明を行った。



▲ 対比表模造紙の例

Good / No good の発表内容例

- | | | | |
|-----------------|--------|------------------|--------------------|
| ◇ SNS/IT が便利さ点 | ◇ 衛生面 | ◇ 少子高齢化 | ◇ 自殺率 |
| ◇ 一定の給料、休暇 | ◇ 識字率 | ◇ 猛暑 (地球温暖化) | ◇ ごみ問題 |
| ◇ 工業技術の発達 | ◇ 仮想通貨 | ◇ 外来種 (生物多様性の危機) | ◇ 格差 (男女、年代、経済、情報) |
| ◇ 災害ボランティアが多い | | ◇ 南北問題 | ◇ 食料問題 |
| ◇ グローバル化 (国際結婚) | | ◇ 地域ボランティアが少ない | |
| ◇ 新幹線の速度アップ | | ◇ 政治への不参加 | |
| ◇ 東京オリンピック開催 | | | |

- この社会についての文章化まとめ…ここまでの活動を通して、改めて自分たちの社会についてわかったことを3つの文章に表し、全体で1項目ずつ発表・共有した。

自分たちの社会についてわかったことの発表内容

- ◇ ミクロな社会を見つめることが大事である。
- ◇ 様々な格差が広がっていて、それをなくしていくことが必要である。
- ◇ グローバル化が進むことによって良い面もあるが、異文化や価値観など受け入れていく必要がある。
- ◇ グローバル化に伴い外来種が入ってきているので日本の自然・生態系を守っていくことが大事である。
- ◇ 便利なものはあるが、正しい使い方をしなければならない。
- ◇ 自分たちは結構身の回りのことが見えていないかもしれない。
- ◇ 現状起きている問題に対処できていない。
- ◇ ジェンダーに対する意識を柔軟にしていける必要がある。

- ファシリテーターからのコメント…ここまでの活動を通して、自分たちの社会についてそれぞれが知っていること、考えていることを起点に、OKなこと/NGなことという整理とそこから気づいたことを基に、この社会を客観視してまとめることができた。

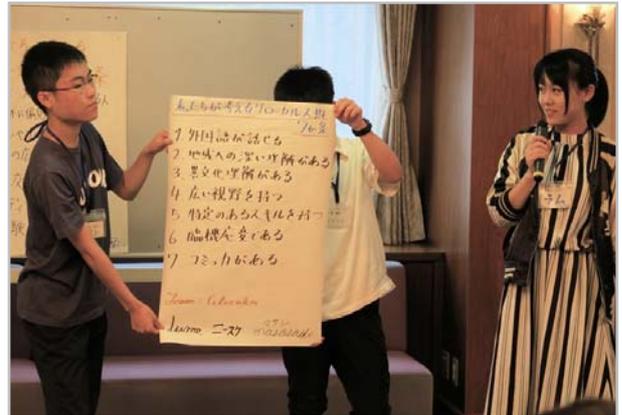
★ 小休憩 15:03-[10]

10. グループ替え、一言自己紹介 15:13 - [7]

- グループ替え…自由に3人グループが4つできるように再編した。
- 一言自己紹介…「行ってみたい国」をお題にグループ内で自己紹介しあった。

11. グローカル人財お悩み相談～7箇条づくり 15:20 - [32]

- お悩み相談ワーク…グローバルなことに関わるAさん、Bさん、Cさんの悩みの内容(シート)を読み、各自いずれかの人を担当し、どんなアドバイスができるかを考えた。グループ内で、Aさん、Bさん、Cさんに対してどんなアドバイスを考えたかを紹介しあった。
- 「グローバル人財7箇条」づくり…3つの事例のアドバイスを基に、グローバル人財の条件や要素を話し合い、その結果を「グローバル人財7箇条」(こんな人をグローバル人財と呼びたい)にまとめ、その後全体で発表・共有した。



グローバル人財7箇条

1. 言語能力
2. 異文化理解
3. 身近な所にも目を向けられる
4. 就業経験
5. マーケティングスキル
6. 思いやり
7. 明るく外交的!

1. 異なる文化と共存できる人
2. 海外に偏見を持たない人
3. 思いやりのある人
4. 顔の広い人
5. 社交的な人
6. メディア・リテラシー
7. 経験豊かな人

1. 外国語が話せる
2. 地域への深い理解がある
3. 異文化理解がある
4. 広い視野を持つ
5. 特定のあるスキルを持つ
6. 臨機応変である
7. コミュニカがある

12. SDGs からひもとく世界と日本の現状 15:52 - [15]

- SDGs 資料読み解き…SDGs (持続可能な開発のための目標) の目標内容と現状に関する資料を読み、一番気になった2箇所(目標)に下線を引き、グローバル人財7箇条に1箇条付け加えるとすれば何かを考えた。
- グループで発表・共有…グループ内で「気になった2箇所」と「追加した1箇条」について紹介しあった。



13. 新聞を読み解く～メディア・リテラシーを考える 16:07～ [26]

- グループ替え…軽くグループ替えを行った。
- 3つの新聞の分担分析…今日の朝刊3紙（読売新聞、朝日新聞、中日新聞）を1紙選び、次のことを読み解いた後、グループ内で発表・共有した。

<分析の視点>

- ① 1面のトップニュース3つとその概要
(書きぶり、視点など)
- ② すべての面を見て一番関心を引いたニュース1つとその概要

- ファシリテーターからのコメント…最も信頼を置い

ているメディアは「新聞」といわれている。逆に信頼性の低いメディアはインターネットといわれている。その新聞でも情報のとらえ方や伝え方が異なっている。新聞であっても書きぶりが違う。例えば、内閣支持率が読売新聞と朝日新聞で10%違う場合もある。トップニュースで紹介される記事も今日の3紙でも異なっていた。自分が知りたいニュースが日本のメディアに載らず、海外のニュースで知る場合もある。各社によってニュースの扱い方や記事が異なるのであれば、どのように情報を入手して、読み解き、分析し、正しく判断するための材料を得るためにどうしたらよいかについて第2回以降に考えたい。



14. 全体ふりかえり 16:33～ [3]

- グループ内で共有…第1回全体を通して感じたことを、グループ内で伝え合った。
- 終わりのあいさつ…主催者が終わりのあいさつをして、終了した。

★16:36 終了 お疲れ様でした！！